

令和 7 年度横浜市立大学 データサイエンス人材育成プログラム（国際商学部）自己点検結果

国際商学部長

吉永 崇史

本プログラムは、① ADEPT プログラムの教育を補完的・発展的に学び、データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力や AI を活用し課題解決につなげる基礎能力を修得すること、②自らの専門分野に数理・データサイエンス・AI を応用するための大局的な視点を獲得することを目的としている。

【令和 7 年度】

●教育プログラムの履修・修得状況

本プログラムは参加申請が不要のため、令和 7 年度国際商学部入学者 269 名が新規履修対象者となった。また、年度中の新規修了者は 166 名であった。

修了者数向上のため、学期始めに学年ごとのオリエンテーションを実施し、プログラムの詳細を周知、履修推奨を行った。

●学修成果

各科目における課題や最終試験を通じて、学修成果を確認した。また、各科目の授業評価アンケートにより、学生の理解度と学修成果を把握した。集計・分析結果は、各学部および FD・SD 推進委員会で分析結果を共有し、各科目の改善に活用した。

●学生アンケートを通じた学生の内容の理解度

授業改善アンケートの「総合的に見て満足できる授業でしたか」および「この授業の内容に関して、さらに学びたくなりましたか」という 2 つの設問項目を通じて、理解しやすさ・有用性・期待充足度、内容理解に基づく興味関心の深化を測定・確認することで、学生アンケートを通じた学生の内容の理解度を測定することとする。令和 7 年度は、プログラム修了者の修了時における学生評価を本プログラムの必修科目（経済統計 I）で評価すると、5 段階評価で 4.5 と概ね高評価であった。

●学外からの視点

本プログラムの内容・手法等の改善については、データサイエンス人材育成プログラム（国際商学部）管理部会において、検討することとしている。また、必要に応じて、各種アンケートを通じて得た学外の意見を踏まえて、検討を行う予定である。